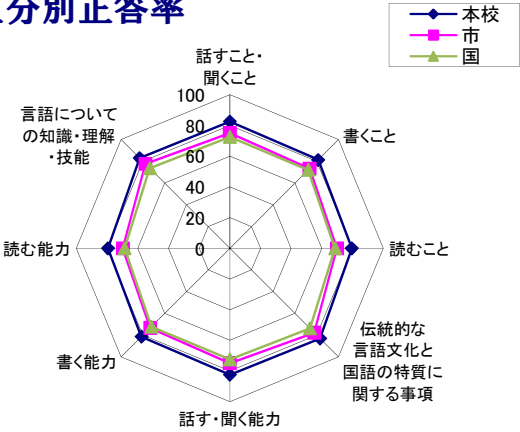


宇都宮市立海道小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

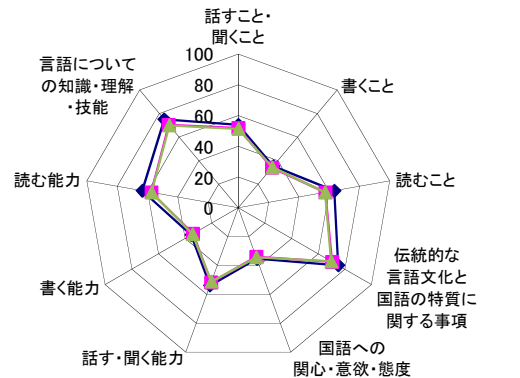
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	82.4	74.9	72.4
	書くこと	81.4	73.4	72.2
	読むこと	79.4	69.7	68.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	83.1	77.8	73.7
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	82.4	74.9	72.4
	書く能力	81.4	73.4	72.2
	読む能力	79.4	69.7	68.5
	言語についての知識・理解・技能	83.1	77.8	73.7



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	53.9	51.9	51.2
	書くこと	35.3	34.0	34.4
	読むこと	63.4	57.5	57.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	75.0	70.5	69.8
観点	国語への関心・意欲・態度	35.3	34.0	34.4
	話す・聞く能力	53.9	51.9	51.2
	書く能力	35.3	34.0	34.4
	読む能力	63.4	57.5	57.3
	言語についての知識・理解・技能	75.0	70.5	69.8



★国語に関する質問紙調査の状況

○良好なもの ●課題が見られるもの

○国語に関するほとんどの質問において、肯定的な回答の割合は全国平均と比べて高い。
○「国語の勉強は大切だと思う」「将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答している児童の割合は、全国平均と比べて特に高い。

★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○A領域の平均正答率は82.4%で全国平均より10ポイント高い。 ⇒○話の中心に気をつけて聞く指導に一定の成果が見られる。 ○B領域の平均正答率は53.9%で全国平均より2.7ポイント高い。	・朝の会におけるスピーチタイムなどの決められた形での発表の時間を確保するとともに、1つの話題から質疑応答を取り入れ、話を深めていく活動を設ける。 ・普段の授業の中で教師の話や友達の意見を聞き取ることを毎時授業者が念頭において授業を行う。
書くこと	○A領域の平均正答率は81.4%で全国平均より9.2ポイント高い。 ⇒○特に、情景描写の効果を捉える設問の正答率は76.5%で県平均よりも17.8ポイント高く、成果が見られる。 ○B領域の平均正答率は35.3%で全国平均より0.9ポイント高い。	・継続的に日記指導を行ったり、行事の終了毎に作文指導を行ったり、文章を書く時間を多くしたりして、書くことに慣れさせる。
読むこと	○A領域の平均正答率は79.4%で全国平均より10.9ポイント高い。 ⇒○特に物語の相互関係を捉える設問の正答率は82.4%で全国平均よりも16.9ポイント高く、成果が見られる。 ○B領域の平均正答率は63.4%で全国平均より6.1ポイント高い。	・文章をじっくり読み、場面の様子などを深く読み取らせるために、物語に触れる機会を多くする。 ・段落相互の関係を接続語に着目して考えさせるなど、説明的文章の読解力の向上を図る。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○A領域の平均正答率は83.1%で全国平均より9.4ポイント高い。 ⇒○漢字の読み書きの設問では、6問中5問で全国平均よりも高く、100%の正答率の設問もあるなど、一定の成果が見られる。 ○B領域の平均正答率は75.0%で全国平均より5.2ポイント高い。	・新出漢字を扱う際に、漢字の成り立ちについて確認するなど、日常的に復習する。 ・故事成語に関しては、学校図書館業務嘱託員と連携して巡回図書等で教室に故事成語に関する本を置いて、児童にふれさせる機会を増やす。